

生物情報ネット構築

2万8000種検索可能に

阪大と中国

大阪大サイバーメディアセンター(大阪府吹田市)は、中国科学院微生物研究所情報ネットワークセンター(中国・北京)と共同で遺伝子レベルの情報を含む研究者向けの生物情報ネットワーク構築に成功し二十四日、発表した。国家間で専門家が使えるネットワ

ーク構築は世界初という。

これまで中国の生物データベースは複数存在し、研究者が一括検索できなかった。しかし、大阪大が開発したシステムで大きな計算能力を持つスーパーコンピュータのネットワークが可能になった。今回のネットワークは中国科学院が収集した動植物約二万八千種のデータを国内から検索可能で、国内種と中国の固有種の遺伝子レベルの比較もできるという。

ネットワーク構築を指導した下条真司・大阪大教授は「創薬などゲノムレベルの研究に最適な研究環境を整えられることが示せた。今後、韓国、シンガポールなどもネットワーク構築しアジアの独自性を生かした研究環境整備を進めたい」としている。